

市政の窓



8月29日、令和4年9月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和4年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

新型コロナウイルスワクチン接種の状況

8月22日現在、3回目の接種を受けた方は、対象者の86・72%、その内65歳以上の高齢者の方は、94・94%です。4回目接種については、4月15日までに3回目の接種を終えた対象者1万7817人の方へ接種券を送付しました。

また、先般、国の厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会において、「オミクロン株対応ワクチン」について、本年10月中旬以降、初回接種を完了した全ての住民を対象に、接種を開始することを想定して準備を進める旨が示されました。

本市では、引き続き情報収集に努め、実施が決定された

場合には、速やかに対応できるように、準備を進めていきます。(本号24ページ参照)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

●おえろーポン事業

ウクライナ情勢の影響などによる「原油価格高騰・物価高騰」の長期化が懸念される状況の中、市民の皆さんや事業者の支援を継続し、市内経済の活性化を図るため、市内の登録店舗で使える1人あたり5千円のクーポン券を配布します。

多くの市民の皆さんのご利用をお願いします。

●吉野川市につづける農業応援給付金事業

農産物の育成や畜産に必要な不可欠な肥料や飼料などの価格が今後においても不安定に推移することが懸念されているなか、継続して農業に取り組めるよう応援給付金を支給するものです。支給対象は、令和3年分の農業所得の申告を行っている市内に住所を有する個人または法人で、個人に対して5万円、法人に対して10万円を給付します。(本号5ページ参照)

児童・保育施設 物価高騰対応事業

子育て支援施設の事業運営費等について、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化およびコロナ禍における物価高騰の影響により、例年以上の負担を余儀なくされている状況を鑑み、各施設毎の令和3年度における光熱水費実績額の10%を基準に、物価高騰などに対する負担軽減のための支援として給付金を支給します。

●学校遊具整備事業

現在、市内小学校では、74台の遊具を設置しています。2月に実施した遊具点検では、経年劣化などにより対策を必要とする遊具がありました。このコロナ禍においても、

子どもたちに屋外での安全な遊び場を提供するため、市内小学校の遊具の整備・更新を行うこととしました。これにより、コロナ禍の影響で減少した子どもたちの運動時間や遊びの機会を創出することも、遊具の安全対策が図れるものと考えています。

●学校給食費措置事業

学校給食に係る原材料費は、小麦をはじめ、乳製品や油脂などの食材価格が高騰しているため、これまでどおり安全で栄養バランスのとれたおいしい給食を提供するためには、現状の給食費では大変難しい状況となっています。そこで、コロナ禍の子育て世代の経済的負担を考慮し、食材価格高騰による値上がり額を補填することとします。

今後の財政見通し

令和3年度決算においては、「取支状況」「基金残高」「地方債残高」いずれにおいても改善が図られ、財政危機突破に向けた明るい材料と考えています。一方、コロナ禍の影響が長期化する中、市民生活や地域

経済活動が現下の原油価格・物価高騰により更に深刻な打撃を受けている現状を踏まえ、9月補正予算案は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を最大限活用しつつ、不足する財源には一般財源を投入し、市民の皆さんの生活を守ることを最優先して編成しています。

藤岡敏孝(ご)も未来基金の創設および活用

本市在住の藤岡敏孝氏より、本市における未来のリーダーとなる人材の育成を目的として、1億円の寄付金をいただいたことに伴い、「藤岡敏孝(ご)も未来基金」を創設しました。

来年度に向けて基金を活用する事業を検討し、未来ある子どもたちの人材育成を図っていきます。

スーパープレミアム付き商品券事業の進捗状況

スーパープレミアム付き商品券(第2弾)の購入申し込みは、大変好評で、3万5千冊に対し、4万8781冊の申し込みがありました。

そのため、1冊目は申込者全員を当選、2冊目を抽選とし、商品券が広く市民の皆さんに行き渡るよう配慮しました。

向麻山公園に係る訴訟の進捗状況

平成30年4月20日に提訴した「向麻山公園に係る斜面崩壊予防等請求事件」は、徳島地方裁判所から和解勧告の提示を受け、顧問弁護士を交えて慎重審議を重ねた結果、これ以上の裁判の長期化は、将来における向麻山公園の保全につながるまいと判断し、和解に応じることとしました。(※令和4年9月2日和解成立)

子育て・教育の満足度向上

●学校給食費の改定
本市では、平成21年に現在

「おくやみコーナー」の、本年7月末までの利用実績は計145件、亡くなられた方

支援してまいります。

その歩みを進めています。

来、さまざまな努力により、学校給食費を据え置いたまま、給食の提供を続けてきました。

そうした中、新型コロナウイルス感染症の長期化や、不安定な世界情勢により、小麦をはじめ、乳製品や油脂などの食材価格が高騰したため、今後、献立の工夫だけではなく、安全で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し続けることは困難と判断し、本年10月以降の給食費は、1食あたり、小学生は255円から275円に、中学生は275円から300円にそれぞれ改定を予定しています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が長期化するウイ、子育て世帯の負担を軽減するため、本年度においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、食材価格高騰による給食費の値上がり額を補填します。

暮らし・福祉の満足度向上

●おくやみコーナーの利用状況

「おくやみコーナー」の、本年7月末までの利用実績は計145件、亡くなられた方

支援してまいります。

その歩みを進めています。

の4人に1人の遺族の方が利用しています。

ワンストップで手続きができ、来庁時の手続きに要する時間を短縮できる本サービスは、今後ますますそのニーズが高まることが考えられます。今後においても、市民の皆さんのお役に立てるよう取り組みをまいりたいと考えています。

移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

●観光コンテンツ開発事業

本事業は、一般社団法人 Kitamura(キタム)を中心に、吉野川市商工会や市内関係団体で構成する実行委員会が、観光庁の補助金を活用し、新たな二次交通である電動3輪バイク「トウクトウク」により、美郷および山川地区の観光スポットなどを巡るツアー・コンテンツを開発する事業です。

アフターコロナに向け、低迷する本市観光振興の起爆剤となり、過疎化が進む市西部の活性化などが期待されることから、市としても民間事業者の行う新しいチャレンジを

●はばたけ!!若者応援プロジェクト
企画提案に応募があった2件とも採択され、今後は、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」で90日間寄付を募り、集まった寄付金は、令和5年度に採択者へ交付し事業を実施する予定です。

採択された事業が、本市の魅力あるまちづくりや地域の活性化につながることを期待しています。(本号5ページ参照)

●市民提案型まちづくり推進事業

提案事業の募集には7件の応募があり、有識者からなる審査委員会において審査した結果、5件の事業を採択しました。

採択された団体は、9月中の補助金交付申請を経て、10月から、それぞれの分野において、本市の課題解決のための事業を実施することとなります。

●FC徳島への支援

FC徳島は、4年連続の全国地域チャンピオンズリーグへの参戦、そして、目標であるJFL昇格に向け、着実にその歩みを進めています。

成長する産業づくりの拡大

●商業地域活性化支援

日本フネン市民プラザ開設、駅前ロータリー広場の整備などにより、鳴島駅前を含む本市の中心市街地は、飲食を中心に新規店舗の出店が続いています。

この流れをよりよい方向へと促し、さらなる中心市街地の活性化促進を図るため、支援事業補助金を増額し、今後も市内商工団体と連携し、中心市街地の賑わいの創出につなげていきます。